岩手県地域公共交通利便増進実施計画（宮古市・山田町版）（概要）

新規

国土交通省

■ 高齢化により、地域公共交通の重要性が高まっている一方、利用者の減少、運行効率の低下、一部路線経路の重複、ダイヤが移動需要に即していない等の課題があり、路線の維持が困難となっている。宮古市と山田町は隣接しており、買い物・通院・通学等の日常生活の移動が相互に関係していることから、宮古・山田間における広域的な公共交通ネットワークの確保・維持を図る必要がある。

■ こうした状況を踏まえ、利便増進事業として両市町を結ぶ広域バス路線の再編や、陸中山田駅を交通結節点とした一体的な交通ネットワークの再構築等を行い、地域における公共交通の利便性維持・向上を目指す。

事業の内容

①「田の浜線」と「宮古船越線」の統合・再編（宮古山田線）
地域間幹線と町内生活路線に系統を分割、陸中山田駅を交通結節点として強化

②山田町内路線の時間帯ニーズに応じたAIオンデマンドバスの導入
朝夕の時間帯の便は、定時定路線型を維持、日中は「AIオンデマンドバス」を導入

③まちなか循環バスの見直しとAIオンデマンドバスへの移行
陸中山田駅を中心に「AIオンデマンドバス」で主要拠点を毎日繋ぎ、移動手段を確保

④山田町コミュニティバス等の再編
大沢地区へコミュニティバスを導入、デマンドタクシーエリアの拡大

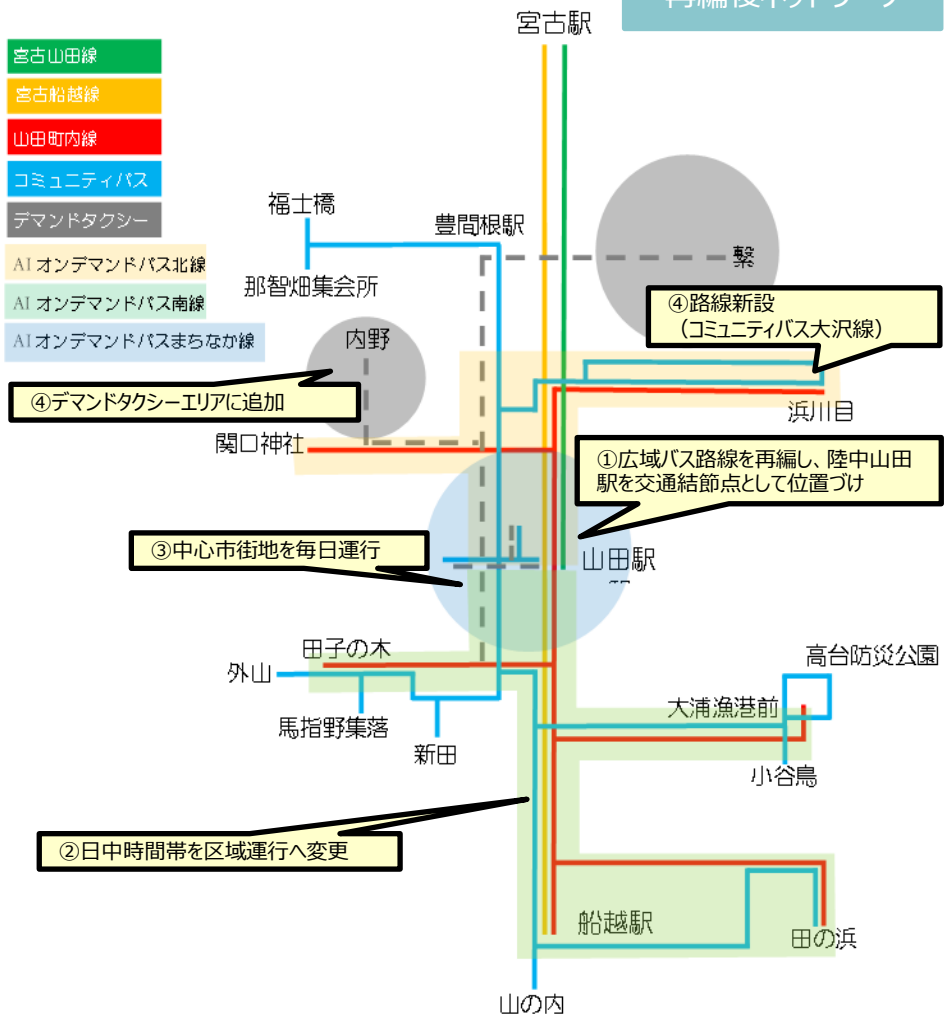
事業の効果

①交通結節点の機能強化と乗り継ぎ利便性の向上
陸中山田駅を交通結節点として強化することで、円滑な移動や乗換が可能となり、広域的な公共交通ネットワークの機能を強化

②AIオンデマンドバス導入による移動利便性の向上
利用者の要望に応じてAIが作成した最適な経路とダイヤ(乗降時間)で運行することで、通院・買い物等の移動利便性を向上させて外出頻度を増加

③中心市街地エリアでのAIオンデマンドバスの毎日運行による、賑わいの創出
毎日運行とすることで、高齢者の社会参加や中心市街地の活性化、更に観光客の二次交通として利便性を向上

④効率的な運行による公共交通の持続性向上
利用実態に即した輸送資源の最適配分により、個々の移動ニーズにきめ細かく対応、エリア全体の利便性が向上

策定自治体：岩手県、宮古市、山田町
事業実施区域：宮古市及び山田町全域
事業実施予定期間：令和8年10月1日～令和11年3月31日

再編後ネットワーク